

クラス	102	担当教員	楠田 康之
	テーマ	ゲーム理論と情報の経済学	
	著書・論文 研究課題等	【著書・論文】 研究課題等: [論文] "Dynamic Contract Model under Asymmetric Information" Ph.D dissertation、The City University of New York、2006.	
ゼミナール 概要			
キーワード: ゲーム理論, 情報の経済学, ミクロ経済学			
この演習では教科書を用いてゲーム理論ならびに情報の経済学を学びます。 ゲーム理論と情報の経済学はいずれもミクロ経済学をはじめとする経済学の各分野において理論的な分析手法として定着してきました。もちろん、従来の価格理論でミクロ経済学の全体像をとらえることはいまなお重要なことですが、現実の経済を分析する上で経済を構成する取引主体の間の戦略的な関係やそれらの間に存在する情報の問題は無視できないものです。つまり、ミクロ経済学の理論をより深く考察しようと考えれば、ゲーム理論と情報の経済学はきっとその体系的な理解に役立つでしょう。 この演習では、ゲーム理論および情報の経済学を初めて学ぶ学生を対象としますので、それらに対して何ら予備知識を持っていなくても参加することができます。しかし、「ミクロ経済学」「産業組織論」を履修予定であることはこの演習で勉強する上で理解を助けるものと思います。特に経済学の理論的アプローチに興味がある学生に向いていると思いますので、数式やグラフを使った数理的思考にアレルギーがない人はぜひ参加してください。			
使用テキスト		担当教員からのメッセージ	
渡辺隆裕著『ゼミナール ゲーム理論』日本経済新聞出版社、2008 年		真面目に勉強する元気な学生のみを募集します。 毎回演習に遅刻せずに出席して活発に発言をすること。	